

生物システム応用科学府における令和5年度の授業の開講方式について

生物システム応用科学府における令和5年度の講義においては、三密を避ける等の各種コロナ対策を講じた上で、対面での講義を行います。また、マスク着用についての政府見解について、3月13日以降は個人の判断によることと変更されたことから、4/1以降の学内でのマスクの着用は個人の判断で行うこととします。

ただし、学生実験や実習など、基本的な感染対策を実施する観点から、授業担当者がマスク着用を要請する場合がありますので、その際にはご協力をお願いいたします。

1.開講科目の各種情報について

「開講科目」、「担当教員」、「Google Classroom コード」をまとめた一覧表を Google Classroom 上に掲載しています。クラスコードは「xwgrkx」です。こちらは随時更新されます。各開講科目内には資料等の情報を掲載します。

2.授業の実施形態について

生物システム応用科学府の授業実施方針に基づき、対面授業を行います。ただし、授業の内容等により、オンライン型での実施に適した授業においては、担当教員の判断により一部オンライン型により実施する場合があります。詳細は各講義のシラバス及び Google Classroom をご確認ください。

※対面授業においては、これまで教室で実施していた座席の間隔を空ける措置は廃止し、通常の座席配置に戻して実施します。

3. 新型コロナウイルス（COVID-19）感染予防対策について

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症における本学の対応方針

<https://www.tuat.ac.jp/NEWS/important/20230315taiou.html>

に留意の上、学生の皆さんは引き続き「感染しない、感染を拡げない」ことを念頭に、感染拡大の防止に取り組むようお願いいたします。

また、対面授業の実施にあたり、引き続き講義室1～3の入口にアルコール消毒用のキットを設置します。

4.研究室における研究活動について

研究室におけるセミナー・研究活動については、指導教員の指示のもと、三密を防止し十分な感染拡大防止対策をした上で実施してください。